

## 松山市議會議員

# 河本ひでき

# ひでき通信 令和7年夏号（第15号）

差出人／河本ひでき事務所 〒791-1105 松山市北井門2丁目9番15号

霧雨の候、庭の紫陽花だけは喜んで七色の花を咲かせております。日頃から皆様には議員活動に対しまして、ご支援を賜り感謝申し上げます。

4月13日には「2025年大阪・関西万博」が開幕されました。テーマを『いのち輝く未来社会のデザイン』とし、158の国と地域・7つの国際機関が集結し、最大の魅力である最先端の技術を実際に体感できるパビリオンや、日本に居ながら様々な世界の文化を体験ができ、世界各国のグルメを楽しむこともできるようです。また大きな経済波及効果が期待されています。

本市としては、JR松山駅の車両基地跡地の整備構想が議論されております。文化創造をはじめ、賑わい交流、防災などの機能を満たした広域交流拠点施設の整備を目指し、四国の玄関口にふさわしい場所となるよう、市民の皆様はもちろん、観光客を惹きつける施設となるよう専門家の方々等で議論をかさねております。

3月本会議にて、一般質問で登壇させて頂きましたのでご報告させて頂きます。  
またホームページやFacebook、公式LINEなども日々更新して活動報告などをこなっています。  
ぜひ、ご意見やご要望をお寄せください。



令和7年5月15日 まつやま市議会だより掲載分

質問

答弁  
1、高齢化が進む本市でも、介護現場の人員不足は深刻な問題であると認識しています。改善には、働きやすい職場づくりが重要で職員の待遇や育成等に係る介護事業者の取組を支援していくことが必要と見え、待遇改善などの国への要望や介護事業者のニーズに応じた研修会を開催しています。今後も研修会等を継続するとともに新たに経営者等を対象に介護DXのセミナーを開催するなど介護人材の確保・定着に向けた取組を支援していきます。

1、介護現場の人員不足について  
どのように認識し、どのような改善をすれば人員不足解消となると  
考へてはいるのか。また、そのため  
に若年層や未経験者を含めた方々  
に対し、どのような取組をしてい  
るのか。さらに、今後どのような  
取組をしていく考へがあるのか。  
2、市民が必要とする介護を受け  
ることができるべき状況を整えるため  
に、本市として、介護事業者にど  
のように支援が必要であると考え  
てはいるのか。

高齢者の介護について

2、市内の介護事業者が受ける物価高騰の影響を少しでも抑え、安定的に事業運営するための支援として国の交付金を活用し支援金を交付しました。今後の支援としては、適切な介護報酬の設定や処遇改善等による人材の確保、補助制度の拡充など業界全体の底上げが国主導で進められるよう引き続き、全国市長会等を通じ要望していきます。

## 市民が安心して医療を受けるための取組について

2、医療相談窓口の相談件数、相談内容及び対応について  
3、医療機関での取組内容について  
4、医療安全の向上のための市の具体的な取組内容について

**答弁**

1、保健所内に「患者の声相談窓口」を設置しています。相談体制と対応については医療現場での勤務経験がある看護師を配置し、中立的な立場でアドバイスや情報提供を行っています。また相談は電話のほかFAXや電子メールでも受け付けておりプライバシーに配慮し匿名での相談にも対応しています。

2、相談件数は令和4年度が915件、令和5年度が113件、

相談内容と対応については医療機関を紹介してほしいとの相談には国の「医療情報ネット」などで把握している医療情報をもとに希望する条件に沿った病院などを相談者が選択できます。また医療従事者の対応については相談者の気持ちに寄り添い、傾きるよう複数の施設をお伝えしていきます。また医療従事者の対応については相談者の気持ちに寄り添い、傾聴した上で医療機関が設置している相談窓口の案内や医療機関と円滑に話をするためのアドバイスなどを行っていきます。

3、重大な事故等が発生した場合は速やかに原因を分析し再発防止策を取るなど医療の安全を確保するための取組みを行うことになります。

4、医療法に基づき保健所に「医療安全支援センター」を設置し医療従事者の資質向上を図るために専門の講師による講習会や病院の医療相談担当者を対象とした情報交換会を開催しています。「患者の声相談窓口」で相談に応じるほか「笑顔のまつやまちかど講座」で受診の際の患者の心得を啓発するとともに症状を医師に上手に伝えるために使用できる「わたしのかかりつけ手帳」を配布しています。さらに医療関係者や弁護士、市民で構成する協議会を定期的に開催し「医療安全支援センター」の取組み内容を協議するなど関係機関とも連携し医療安全の向上に取組んでいます。

答  
弁  
1、障がいの種別に関わらず一つの窓口で福祉サービスの利用申請などができるようになり利便性が高まつたと考えています。今後、窓口で幅広い相談に対応できるようさらに職員のスキルアップを進めます。また利用者が窓口に来なくとも手続きできる郵送やオンライン申請を導入するなど一層、便利にしていきます。

窓口を一元化したことによる効果及び今後の課題について  
2、障がい者の法定雇用率を上げるためにも、本市独自での企業への支援や助成を行う考えはあるのか。また今後どう向き合っていくべきと考えているのか。  
3、解雇により職場を失つたり、就労場所が見つからないといった障がいを持つた方への就労支援はどうのようになっていくのか。  
4、障がい者等、生きづらさを抱えた方への支援として居場所を提供することの重要性をどのように考え、今後どのような支援や取組をしていくのか問う。

障がい者等、生きづらさを抱えていた方への支援や取組について



ほっとけない！

ています。本市では身体に障がいのある方を対象に健康体操やパソコン講座、俳句講座などを開講し、参加者同士がコミュニケーションを図りながら自立や社会適応能力の向上等を促す支援をしています。また主に精神に障がいがある方を対象に生活支援や交流の場を通して自立や生きがい等の意識を高める居場所を「地域活動支援センター」に設けています。今後も複雑化、多様化するニーズに対応できるよう重層的な支援体制を活用しながら社会とのつながりに不安を感じて居る方の居場所づくりに取り組んでいきます。

## NPO法人Link愛媛交流ゲートボール大会



第8回松山市議会 議会報告会

## 令和6年12月本会議にて委員長報告



議会運営委員会 行政視察

## 遍路とおもてなしのネットワーク



事務所横 水路清掃

# 石井小学校・南中学校 桜卒業式・入学式 出席



The image is a collage of three photographs. The left photo shows a man in a dark jacket and blue gloves working on a large blue PVC pipe that is partially buried in the ground. He appears to be using a tool to clean or repair the pipe. The middle photo, labeled 'before', shows a narrow, shallow ditch filled with water and overgrown with green plants. The right photo, labeled 'after', shows the same area, but the ditch is now dry and paved over with a light-colored material, likely asphalt or concrete.

●後援会●

〒791-1105  
松山市北井門2丁目9番15号  
TEL: 089-961-1178  
FAX: 089-961-1106

LINE公式！登録者 募集中！  
ご相談はLINEでお気軽に！  
Facebook日々更新中  
河本ひできWEB開設中  
<https://kawamoto-h.com>

